「龍谷の森」里山保全の会の記録

丸山　徳次

2006年４月15日（土）　里山ORC公開講座と連携
2006年５月27日（土）　「龍谷の森」自然観察会
2006年８月５日（土）　「龍谷の森」里山保全の会　総会
2006年10月28日（土）　熊谷川沿い道路周辺の整備
2006年11月18日（土）　部分的皆伐実験の準備
2007年１月13日（土）　落葉堆肥：採取と新規作り

2006年度、「龍谷の森」里山保全の会は、上記のような例会および総会を開催しました。

4月15日の里山ORC公開講座は「瀬田丘陵の春を遊ぶ」というテーマで、江南和幸氏の指導のもと、「龍谷の森」および田上のあぜ道を散策し、タカノツメ、コシアブラの木の芽採り、ヤブカンゾウ、ニビル、ツクシ、タンポポ、ウドの芽、ミツバなどを摘み、大学内の教室に戻って、江南氏の作るカンゾウの味噌和え、ニビルとキノコの味噌汁、タンポポのサラダ、タカノツメご飯などを味わいました。新聞紙上に広報し、申込者を制限しましたが、すぐに満員となる盛況でした。「龍谷の森」里山保全の会の会員諸氏には、食事の準備等、全面的にご協力いただきました。

5月27日の「龍谷の森」自然観察会は、谷垣岳人氏の指導で、鳥と昆虫を中心とした自然観察会を「龍谷の森」で実施しました。龍谷大学学生たちも参加するものでした。熊谷を下り、堂の集落を抜けてSルートに入り、シイタケほだ場が終点の約2時間半の行程。17種の鳥が確認されました。

本年度は、6月から7月にかけて、「龍谷の森」の中に水場をつくるための作業が数回

ありましたが、この作業に、学生たちとともに、「龍谷の森」里山保全の会のメンバー有志が協力しました。

以下、8月5日の総会と、10月28日、11月18日、1月13日の例会に関しては、案内文を掲載しておきます。

「龍谷の森」里山保全の会　2006年度総会のご案内

本年もまた激しい梅雨と、湿舌による猛暑のダブルパンチとで地球の異変を目の当たりにしつつ、そんな危機を前にしての呑気な「先進工業国」G8の姿に不安を覚えるこの頃です。

さて、しばらく開催しなかった保全の会の呑気さを反省して、夏の暑い最中ではありますが、下記要領で、2006年度の総会を開催し、懸案事項を話し合いたいと存じます。特にこれまでの大学の人間の思い付きによる運営体制を改め，本当の市民参加をどのように保証するかを含めて、組織のありかた、運営の改善について提案をつのりたいと思います。ぜひご参加をお願いします。

今回は猛暑が予想されますので作業は行わず、総会と夕刻よりの懇親会とを主とした集まりを企画しております。総会の前に１時間程度真夏の森の中の自然の姿をみる散策も企画しました。

記

日時・場所　2006年8月5日（土曜日）　龍谷大学瀬田キャンパス

午後1時～2時半ごろまで：森の散策（希望者）

午後3時～5時　総会：瀬田学舎1号館6階619号室（1号館入り口すぐのエレベーターで6階まで上がり、エレベーターを出てすぐ左の大きな部屋）。

午後5時～7時　懇親会：7号館地階、実習室（毎回調理実習を行う部屋）

懇親会費：500円（できるだけおつりのないように願います。）

注：1）事前申し込みの必要はありません。随時積極的にご参加ください。

2）夏休みで大学生協が休みのため、懇親会をいつものように手作りにしました。いくらかの手料理とビール、花酒で夏の夜をご歓談ください。

「龍谷の森」里山保全の会　代表世話人　江南　和幸

「龍谷の森」里山保全の会　ご案内

暑い暑い夏でしたが、地球温暖化も目下のところは、太陽と地球との関係を壊すまでには至っていないようです。彼岸を過ぎ涼しさが戻ったところで、保全の会の活動の再開を計画しました。

今回は、「龍谷の森」の外周の一部、瀬田キャンパス造成時に資材を運ぶ取り付け道路として作られた熊谷川沿いの道路周辺の整備を予定しています。造成からおよそ20年が経過し、明るかった道もアカマツが茂り、ハチクが根を張り暗く歩きにくい道となりました。昨年この道で社会福祉学科（龍谷大学社会学部）の学生が作る「輪っかの会」の皆さんと一緒に、「車椅子で楽しむ里山」を試みました。車椅子が通れるように倒木を除き、山の様子を望めるように茂ったアカマツの抜き伐りが必要であることがわかりましたが、そのまま放置、現在はさらに暗い道となっています。会員の皆さまのご協力で、里山を楽しむ人々の輪を少しでも広げたいと思います。

なお、当日は、龍谷大学瀬田キャンパスの大学祭が開催され、理工学部を中心とした、研究室公開、また瀬田キャンパスの全学部（理工学部・社会学部・国際文化学部）の学生によるイベントが企画されています。作業終了後、大学祭の催しもお楽しみいただければ幸いです。

日時：2006年10月28日 午前10：30　龍谷大学瀬田学舎内バス停前集合
昼食をはさんで午後2時ごろまで（小雨決行）

携帯品：お弁当、飲み物、雨具、手袋 （作業用は保全の会で用意します）

なお、抜き伐りしたアカマツ、ハチクを使って、来年早々にも炭焼きを計画しています。乾燥・保存のためいくらかをキャンパス内の研究室に運ぶお手伝いをお願いします。

「龍谷の森」里山保全の会　代表世話人　江南　和幸

「龍谷の森」里山保全の会　ご案内

「龍谷の森」は、40年ほど人の手が入っていない里山です。ここに私たちは、落葉の堆肥づくりを行ったり、ホダ場を作ったりしてきました。今回、里山ORCセンター長であり、理工学部環境ソリューション工学科の教授でもある宮浦先生の発案により、一定区画を伐採し、人の手が入ることで里山林がどのような変化をもたらすのか、試してみることにします。伝統的な里山林は、20年ほどを周期に部分的な伐採を行い、絶えず、林内に開けた場所と若木からなる林と成木の林などがモザイク状に混在することで、結果的に生物多様性を保ってきたと思われます。こうした里山林利用の伝統的手法を試してみることで、さまざまなことが分かってくることを期待しています。つきましては、まずは

＜1．伐倒予定地までの作業道の整備＞を行い、また、＜2．シイタケほだ場周辺での里山管理に関する検討＞を行いたいと思います。もちろんこうした里山保全活動は、なかなな大変な作業ですが、それ自身が楽しみでもありますし、また、やがてこれまで見られなかったような花が咲き乱れるといった喜びを与えてもくれます。どうぞふるってご参加ください。

なお、今後の活動の方向としては、「花の咲く里山づくり」、「コナラの萌芽更新とシイタケ栽培」、「アカマツの再生→マツタケを呼び戻そう」、「子供が遊べる里山づくり」といったようなテーマを設定し、皆さんによりいっそう自発的・自主的に活動いただきたいと考えています。

日時：2006年11月18日 午前10：30　龍谷大学瀬田学舎内バス停前集合
昼食をはさんで午後2時半ごろまで（小雨決行）

携帯品： お弁当、飲み物、雨具、手袋 （作業用は保全の会で用意します）

「龍谷の森」里山保全の会　事務局世話人　丸山　徳次

「龍谷の森」里山保全の会　ご案内
＜落葉堆肥　採取と新規作り＞

里山ORCが主催した国際シンポジウム「里山とは何か：自然と文化の多様性」（2006年12月16日龍谷大学深草学舎開催）は、260名ほどの方々が参加下さり、お陰さまで大成功でした。「里山」という言葉が、すでに国際的にも認知されつつあることを、知ることもできました。ご参加くださった皆さんには、心から感謝致します。時間の関係もあり、「龍谷の森」里山保全の会の活動そのものを紹介することは出来ませんでしたが、近く地元の方々にもっと広く活動を知らせる何らかのイベントを実施したいと考えています。また是非ご協力願います。

さて、下記の日程で、恒例の落葉の堆肥作りをしたいと思います。昨年作ったものを取りだし、また落葉を集めて新規に堆肥作りを行います。龍谷大学学生諸君との協働作業になります。コナラ純正の落葉堆肥は、皆さんの人気の的です。堆肥（腐葉土）の持ち帰りにあたっては、希望者には、宅急便の手配もします。ふるって御参加ください。

日時：2007年1月13日（土）午前10：15　龍谷大学瀬田学舎内バス停前集合
昼食をはさんで午後2時半ごろまで（小雨決行）

携帯品： お弁当、飲み物、雨具、手袋 （作業用は保全の会で用意します）

「龍谷の森」里山保全の会　事務局世話人　丸山　徳次